

株式会社 アーレスティ

2010年5月19日

2010年3月期 決算説明会



本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

ご説明内容

- I. 2010年3月期決算概況
- II. 業績改善の進捗状況
- III. 2011年3月期業績見通し
- IV. 新中期経営計画(2010-2012年度)

I . 2010年3月期決算概況

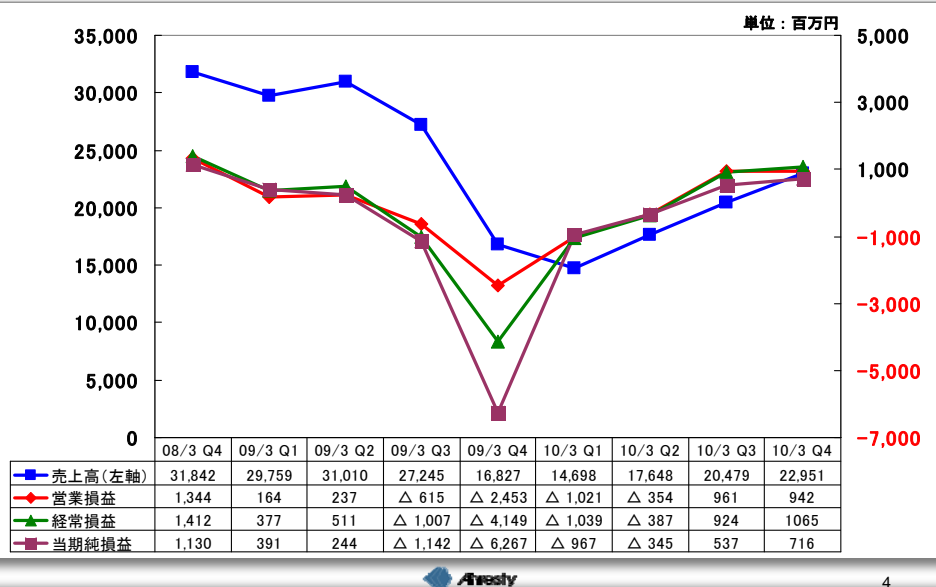


連結決算概要

単位：百万円

	2009年3月期	2010年3月期	前年同期比 増減率
売上高	104,843	75,777	△27.7%
営業損益	△2,665	526	—
経常損益	△4,265	564	—
当期純損益	△6,772	△59	—

連結決算概要(四半期別)



4

業績推移 — 連結キャッシュフロー

単位：百万円

	2009年3月期	2010年3月期
営業活動によるCF	9,404	9,112
投資活動によるCF	△15,476	△10,341
財務活動によるCF	9,841	△232
現金等の期末残高	7,274	5,267

Atresly

5

ダイカスト部門の状況

単位:百万円

	2009年3月期	2010年3月期	前年同期増減率
	実績	実績	
売上高	96,278	71,638	△25.6%
国内	78,760	55,439	△29.6%
北米	13,342	10,763	△19.3%
その他	4,176	5,435	30.1%
営業損益	△2,825	608	—
国内	△1,740	63	—
北米	△752	458	—
その他	△135	194	—
連結調整	△198	△108	—



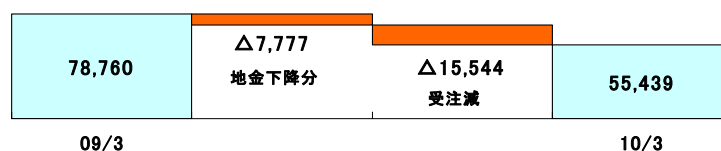
6

国内ダイカストの状況

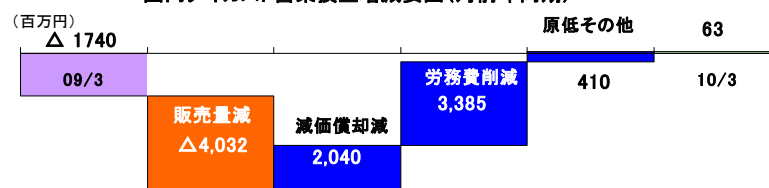
単位:百万円

	2009年3月期	2010年3月期	前年同期増減率
売上高	78,760	55,439	△29.6%
営業損益	△1,740	63	—

(百万円) 国内ダイカスト売上高増減要因(対前年同期)



国内ダイカスト営業損益増減要因(対前年同期)



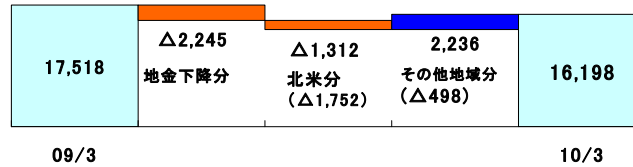
7

海外ダイカストの状況

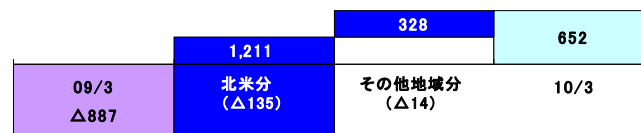
単位:百万円

	2009年3月期	2010年3月期	前年同期増減率
売上高	17,518	16,198	△7.5%
営業損益	△887	652	—

(百万円) 海外ダイカスト売上高増減要因(対前年同期)



(百万円) 海外ダイカスト営業損益増減要因(対前年同期)



()内は為替の影響分を示す



8

アルミニウム部門の状況

単位:百万円

	2009年3月期	2010年3月期	前年同期増減率
売上高	5,484	2,687	△51.0%
営業損益	△88	△49	—

要因分析(前期比)

売上高 2,797百万円減少 営業損失 39百万円減少

1. 景気低迷による地金需要減と市況急落の影響で売上減
2. 在庫削減や生産体制の見直しを図るも年初の損失を挽回できず



9

完成品部門の状況

単位: 百万円

	2009年3月期	2010年3月期	前年同期増減率
売上高	3,080	1,451	△52.9%
営業損益	221	△30	—

要因分析(前年比)

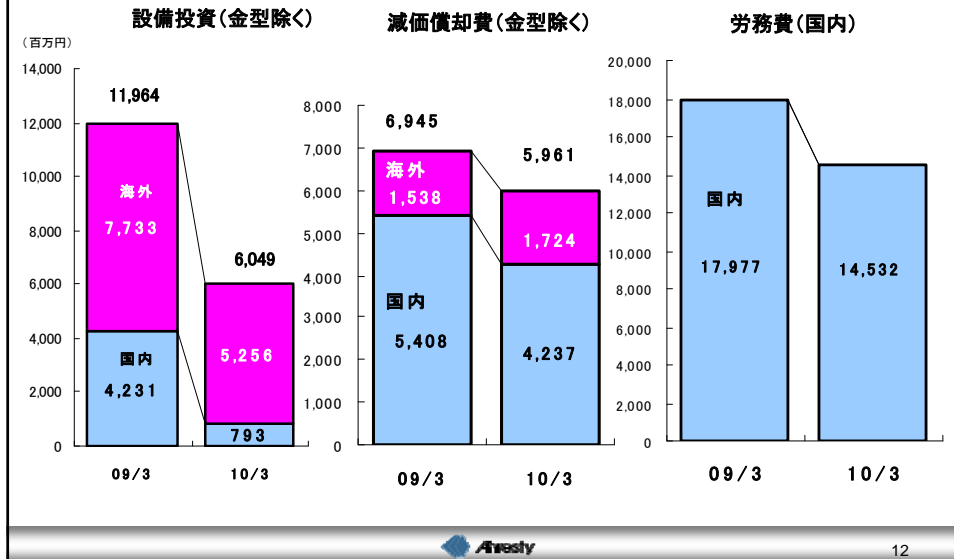
売上高 1,629百万円減少 営業損益 251百万円減少

- 半導体関連企業の設備投資中止または延期の影響により売上高減少

Ⅱ.業績改善の進捗状況



業績改善の進捗状況



Ⅲ. 2011年3月期業績見通し



2011年3月期業績予想(対前年比較)

単位:百万円

	2010年3月期	2011年3月期 予想	増減額
売上高	75,777	90,500	14,723
営業損益	526	3,200	2,674
経常損益	564	3,050	2,486
当期純損益	△59	2,500	2,559



14

2011年3月期事業別業績予想

◆連結売上高

単位:百万円

	2010年3月期	2011年3月期 予想	増減率(%)
ダイカスト	71,638	84,400	17.8%
アルミニウム	2,687	3,700	37.7%
完成品	1,451	2,400	65.4%
合計	75,777	90,500	19.4%

◆連結営業損益

単位:百万円

	2010年3月期	2011年3月期 予想	増減額
ダイカスト	608	2,950	2,342
アルミニウム	△49	200	249
完成品	△30	50	80
消去又は全社	△1	0	—
合計	526	3,200	2,674



15

2011年3月期地域別ダイカスト業績予想(1)

◆売上高

(百万円)

	'10年3月期	'11年3月期 予想	増減率(%)
ダイカスト	71,638	84,400	17.8%
国内	55,439	59,100	6.6%
北米	10,763	14,200	31.9%
その他	5,435	11,100	104.2%

2011年3月期地域別ダイカスト業績予想(2)

◆営業損益

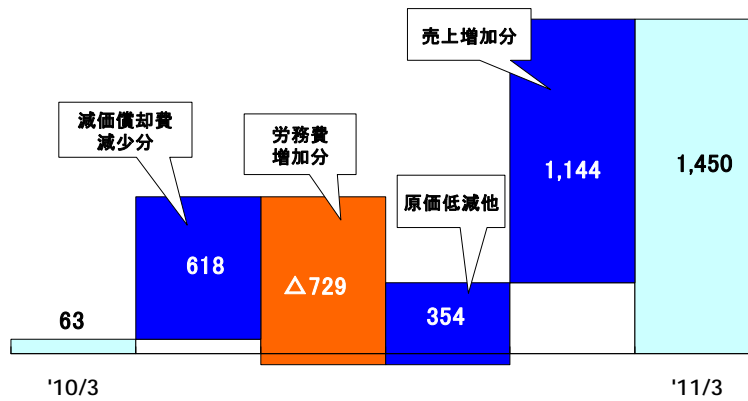
(百万円)

	'10年3月期	'11年3月期 予想	増減額
ダイカスト	608	2,950	2,342
国内	63	1,450	1,387
北米	458	800	342
その他	194	700	506
連結調整	△108	0	308

2011年3月期国内ダイカスト業績予想

営業損益増減要因（対前年同期）

単位：百万円



設備投資・減価償却費の推移

単位：百万円

	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期(予)
営業活動によるC.F.	10,497	13,004	9,404	9,112	14,000
設備投資額 (内金型)	16,556 (4,165)	15,451 (5,152)	16,315 (4,351)	9,278 (3,229)	13,700 (4,300)
減価償却費 (内金型)	7,364 (2,489)	10,146 (3,747)	11,474 (4,631)	9,693 (3,878)	10,600 (4,300)

IV. 新中期経営計画(2010—2012年度)



アーレスティ10年ビジョン

**「すべてのステークホルダーから信頼される
グローバルトップ企業を目指す」**

顧客	顧客ニーズの先を行く企業
株主・投資家	投資価値のある企業
従業員	生きいきと活動し誇りを持つ企業
取引先	相互に信頼される企業
社会	社会と共に歩む企業

新中期経営計画策定の背景

当社を取り巻く環境

- 世界自動車需要は新興国市場を牽引役として右肩上がりの予測
- 国内自動車生産は右肩上がりの成長は見込めない
- 新興国での部品調達が進む傾向
- 環境規制の強化



環境変化に柔軟に対応できる
経営基盤の強化



22

新中期経営計画

10-12 3カ年アールスティ方針 「更なる飛躍にむけて品質を中心においた基盤強化」

戦略骨子

- 品質基盤強化
- 人材の育成
- グローバル業務標準の整備
- リスクマネジメント



23

新中期経営計画に基づく目標値

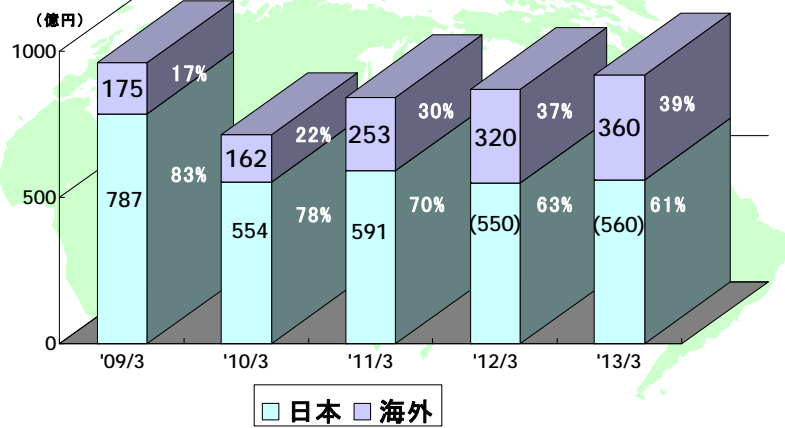
	'13/3目標
連結売上高	1,000億円
売上高営業利益率	4%
総資産純利益率(ROA)	3%
株主資本当期純利益率(ROE)	8%

ダイカスト事業のグローバル戦略

- 新興国市場での販売拡大
- 非日系顧客への販売拡大
- 中国第2拠点設立の検討
- メキシコでの金型生産部門の新設

ダイカスト事業のグローバル売上高見通し

グローバルダイカスト売上高



Casting Our Eyes
on the Future

株式会社アーレスティ



2010年5月19日

— 研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して —